

令和4年度（2022年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	08-08	所管部	建設部	作成責任者	土木局河川砂防課長 松田 哲夫
				担当係	河川計画係（内）29-323

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）						
地区名	気門別川	市町村名	伊達市	総事業費	15,029 百万円		
負担割合	国	道	市町村	その他			
	55.0%	45.0%	—	—			
	8,266 百万円	6,763 百万円	— 百万円	— 百万円			
事業目的・目標	●気門別川は、太平洋に注ぐ二級河川で、S56年（1981年）8月、S57年（1982年）10月の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生した。 ●このため、当該計画区間（L=6.2km）において、H5年度（1993年度）に本事業が採択され、河川改修に着手。 ●河道の掘削による河積の拡大に伴い、伊達市館山町地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。						
	【アウトカム】等 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 1752戸 → 0戸 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 30ha → 0ha						
事業概要	気門別川は、河口から上流6.2kmの区間について、河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量	Q=370m ³ /s	(百万円)		
			計画延長	L=6,200m	前回評価	今回評価	増減額
			掘削工	L=6,200m	1,374	2,033	659
			護岸工	L=11,800m	4,118	4,469	351
			附带工事	道路橋N=12橋→11橋、JR橋1橋	3,477	3,882	405
			測量設計費	調査・設計	989	1,236	247
			用地費及補償費	用地買収・物件補償	3,409	3,409	0
			計		13,367	15,029	1,662
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名		
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）		
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 （河川改修等の治水対策） 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。					
	関連する指標	-					

II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
							11,000	4,950			
事前評価又は当初	H5 (1993)	H7 (1995)		H30 (2018)							
前回再評価	H5 (1993)	H7 (1995)	H29 (2017)	H52 (2040)			13,367	6,015		6,828	51%
今回評価			R4 (2022)	R22 (2040)	29		15,029	6,763	150	8,595	57%

変更理由・内容（概要）

- (1) H29年9月出水時の土砂堆積により掘削土量を見直したことによる増額
- (2) H29年9月出水に伴う堆積土における重金属調査費の増額
- (3) 橋梁架替工事において下部工の基礎形式が変更となったことによる増額
- (4) 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ● S56年（1981年）8月 浸水被害が発生（浸水面積1ha、浸水家屋92戸） ● S57年（1982年）10月 浸水被害が発生（浸水家屋7戸）
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ● H2年（1990年） 伊達市より道に河川改修の要望 ● H4年（1992年） 気門別川改修期成会の結成 ● H5年（1993年） 改修事業に着手
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊達市館山町地区の市街地及び農地 氾濫防止面積108ha（うち農地30ha）、浸水防止家屋1752戸

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容
	室蘭圏都市計画道路事業 3・4・101号南大通 及び3・4・103号停車場通	伊達市	R2(2016)~ R7(2025)	1,267	道路延長約370m

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画														
	施工(工種)区分	工事内容	H5~	H7	H9	H17	~	H30	~	R4	R5	~	R22	進捗状況	事業費(百万円)
	掘削工	L= 6,200m							L=690m				L=5,510m	55%	2,033
	護岸工	L=11,800m							L=777m				L=11,023m	20%	4,469
	附带工事	道路橋N=12橋、JR橋N=1橋							道路橋3橋、JR橋1橋				道路橋9橋	69%	3,882
	測量設計費	調査・設計												92%	1,236
用地費及補償費	用地買収・物件補償						47件					33件	86%	3,409	

(2) 進捗状況

新橋下流までの450m区間の整備を完了。館山橋(市道)改築に着手。
今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。

a

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
	項目	R4現在	項目	R4現在	
	洪水被害防止効果	154,190	建設費	22,478	<ul style="list-style-type: none"> ●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2(2020))に基づき算出 ●効果及び費用はR4(2022)に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
			維持管理費	13	
	合計(B)	154,190	合計(C)	22,491	
B/C	前回算定年度 : H29年度(2017年度)【再評価】 前回算定時B/C : 5.57 変更理由 :				
R4現在	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・治水経済調査マニュアル(案)が改定され、便益の算定方法が見直されたことによる。 ・効果及び費用をR4に現在価値化したことなどによる。 				
6.86					

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	施工の最適化	工事で発生するコンクリート殻を護岸の中詰め材へ再利用	6

V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、伊達市館山町地区の市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 	
	a	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。

2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題
	<ul style="list-style-type: none"> ● 道道錦橋から計画終点までの区間にある山付き部の河畔林を極力保全する。 ● 低々水路を設け、魚類が生息できる水深を確保する。 ※直近の評価以降の状況変化はない。
	(2) 事業推進に対する住民の動向
<ul style="list-style-type: none"> ● 伊達市から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。 ※直近の評価以降の状況変化はない。	
(3) その他の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 特になし ※直近の評価以降の状況変化はない。

3. 事業達成の見込み	事業の必要性に変化はないほか、事業を推進する上での課題等もなく、前回評価から着実に事業が進捗していることから、予定年度での事業達成が見込まれる。	
	a	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。

4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和22年度（2040年度）の完成を目指し、事業継続する。					
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止				
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 再評価：平成29年度（2017年度）評価 評価結果：継続（変更なし） B/C=5.57
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

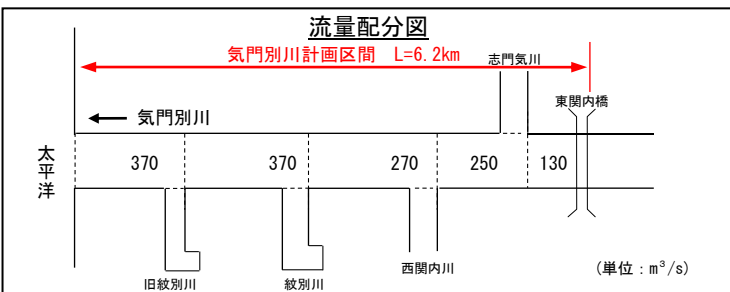
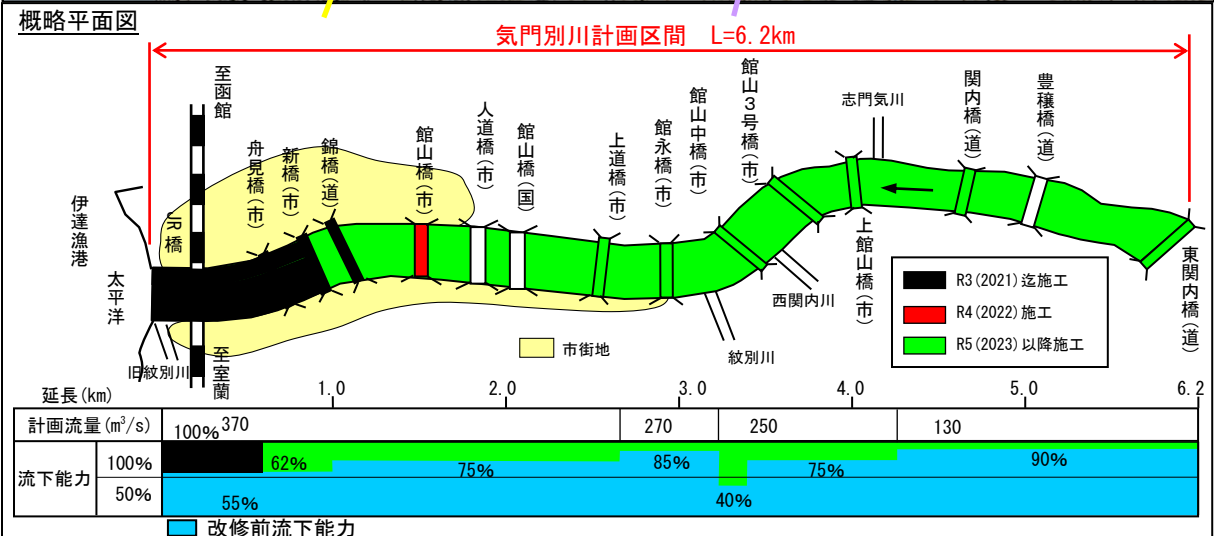
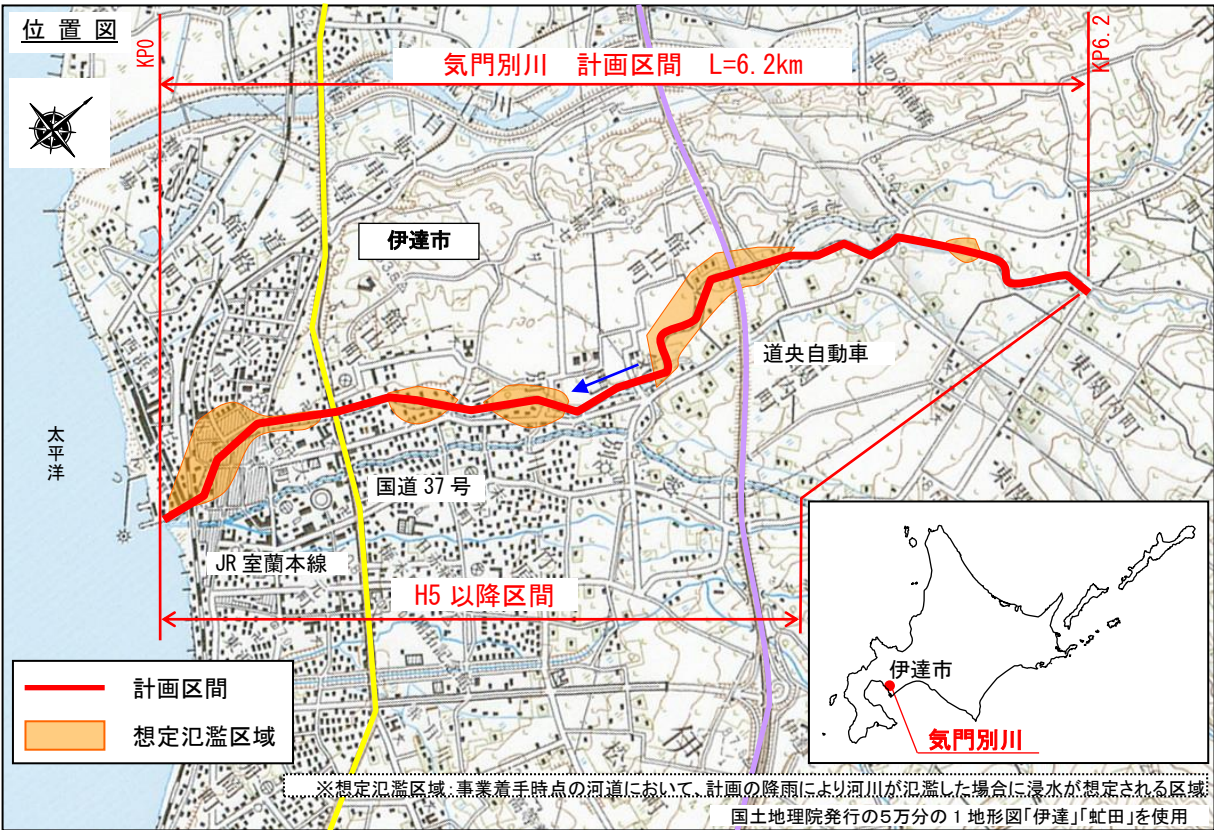
補足資料

Ⅶ 事業計画変更

（単位：百万円）

事業経過							事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定	総事業費 (a)	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H5 (1993)	H7 (1995)			H30 (2018)	11,000			
変更①	1回目	H5 (1993)	H7 (1995)	H24 (2012)	H24 (2012)	H40 (2028)	11,900			
変更②	2回目			H29 (2017)	H29 (2017)	H52 (2040)	13,367			
変更③					H30 (2018)	H52 (2040)	13,917			
変更④	3回目			R4 (2022)	R4 (2022)	R22 (2040)	15,029	150	8,595	57%
変更⑤										
変更⑥										
変更⑦										
変更⑧										
変更⑨										
変更⑩										
							29			
変更理由・内容							変更①：事業期間・総事業費の変更 ・掘削土から基準値を超える重金属（ヒ素及び鉛）が検出され、その調査費や処理費の追加による増額 ・用地交渉に時間を要したこと及び残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸 変更②：事業期間・総事業費の変更 ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による増額 ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸 変更③：総事業費の変更 ・H29年9月出水時の土砂堆積により掘削土量を見直したことによる増額 ・H29年9月出水に伴う堆積土における重金属調査費の増額 変更④：総事業費の変更 ・橋梁架替工事において下部工の基礎形式が変更となったことによる増額 ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額			

事業名	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	きもんべつがわ 気門別川	採択年度	H5 (1993)
-----	----------------------------	-----	-----------------	------	--------------



計画諸元

流域面積(km ²)	47.9
計画延長(km)	6.2
氾濫面積(ha)	108
計画雨量	48 mm/hr
計画高水流量(m ³ /s)	370
計画勾配	1/350~1/100

